

医療・福祉機関の皆さまへ

Zoomにて勉強会を開催します。
是非ご参加ください。 岡山中央病院

2025年度

教育研修プログラム



対象：医療従事者

大腸内視鏡の実際：挿入法から疾患まで

大腸内視鏡は、終末回腸を含めて大腸全体を観察して病変(がん・ポリープ・潰瘍・炎症・憩室・粘膜下腫瘍・痔核など)を発見し、その治療を行うものです。

その基本は挿入法にあります。工藤が体系化した軸保持短縮法は、腸管の屈曲を取りつつ短縮操作を繰り返しながらスコープを固定軸にできるだけ一致するようにして挿入するものです。理想的な方法ですが熟練を要します(後に先端透明フードの使用を推奨した)。その一方で後藤が考案した水浸法は、全例透明フードを装着し、空気の吸引と注水を行って水浸下にスコープを進める方法です。有用な手技であり、軸保持短縮の意味するものを体験できるものの画質に難があります。私は、最近の内視鏡には送水機能が装備されていることを利用し、水浸法を応用しながら体位変換と用手圧迫を用いて挿入しています。また画像へのこだわりから、治療時以外には透明フードを使用しません。必要に応じて盲腸到達後にCO2を使用しています。

この企画では、以下について画像と症例を提示しながら大腸内視鏡について考えていきます。①大腸内視鏡の目的と機器の進歩、②検査の前処置、③抗血栓薬の最小限休薬期間、④鎮静(ミダゾラム・プロポフォール)、⑤内視鏡挿入の実際＝挿入法(送水機能・体位変換・腹部用手圧迫など)、⑥内視鏡像から見た大腸疾患とその治療。

講師：岡山中央病院

消化器内科 医師 森山 友章

日時：2025年 5月 22日 (木)

18時30分～19時30分

方法：オンライン (Zoom) ※会場参加も可能です

対象：医師・医療従事者

備考：岡山県医師会生涯教育講座申請中 ※ 9：医療情報

問い合わせ先：岡山中央病院 地域連携室

Tel (086) 252-5002 Fax (086) 252-3929

メール：khg-renkei@kohjin.ne.jp

【お申し込み方法】

勉強会参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、岡山中央病院 地域連携室までメール、またはQRコードでお申し込みください。 khg-renkei@kohjin.ne.jp

記載項目：1. 施設名 2. 連絡先 3. 氏名 4. フリガナ

5. 職種 6. 医籍登録番号 (医師のみ) 7. メールアドレス

メールでお申し込みの方には、

後日、Zoom参加のURLをメールにて返信させていただきます。



※申込締切：5月21日(水)